

二〇二〇年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【博士後期課程】

専門科目

中国語中国文学コース

※解答は別紙(縦・横書)

〔問一〕四の回答順は自由でよいが、必ず問の番号を記してから答えること〕

問一 次の十五項目の中から十項目を選び、簡潔に説明せよ。(時代の分かるものは必ず時代を記すこと)

ア 眉批	イ 新楽府	ウ 録鬼簿	エ 民族形式	オ 配価語法
カ 対転	キ 張愛玲	ク 周有光	ケ 中原音韻	コ 板橋雜記
サ 『現代』	シ 元曲選	ス 婉約詞	セ 説唐全伝	ソ モニター仮設

問二 次の文を読んで、以下の問いに答えよ。左傍線は人名を表す。

楊昊字明之，娶江氏少艾，連歲得子。明之客死之明日，有蝴蝶大如掌，徊翔於江氏傍，竟日乃去。及聞訃，聚族而哭，其蝶復來繞江氏，飲食起居不置也。蓋明之未能割戀於少妻稚子，故化蝶以歸爾。李商嘗作詩記之曰：「碧梧翠竹名家兒，今作栩栩蝴蝶飛。山川阻深網羅密，君從何處化飛歸。」李鐸諫議知鳳翔，既卒，有蝴蝶萬數自殯所以至府宇，蔽映無下足處。官府弔奠，接武不相辨，揮之不開，踐踏成泥。其大者如扇，踰月方散。楊大芳娶謝氏，謝亡未殮，有蝶大如扇，其色紫褐，翩翩自帳中徘徊，飛集窗戶間，終日乃去。始信明之之事不誣。余嘗作詩悼之云：「帳中蝶化真成夢，鏡裏鸞孤枉斷腸。吹徹玉簫人不見，世間難覓返魂香。」亦紀實也。

(宋・周密「癸辛雜識」より)

(1) 全文を日本語に訳しなさい。

(2) 右傍線部の平仄を書きなさい。(一字ずつ「平」または「仄」と明示すること)

問三 次の文の傍線部①②③を日本語に訳せ。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

(明・高濂「玉簪記」第四齣)

注

檠戟…有繒衣或油漆の木戟。古代官吏所用的儀仗，出行時作爲前導，後亦列於門庭，用以表示威嚴。

歲歉…一年的收成不好。

方寸…指人的内心。寸心。

淑品…婦女封號。

問四 次の文を読んで、以下の問に答えよ。

(1) 全文を日本語に訳せ。

(2) 下線部①②の現代中国語音をピンインで記せ。(声調符号も含む。ただし横書きすること。)

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

丁玲《在医院中》より

(《丁玲小说 梦珂(民国女作家小说经典)》上海古籍出版社, 1997年)

受験番号	
氏名	

この欄以外に受験番号氏名を書かないこと。

ここから記入すること

科目名

中国語中国文学コース

総点

--

(裏へ続く)

--

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

(次頁へ続く)

———  
ここに記入すること  
———

(裏)続々



——「」から記入する」と——

(裏) 続

Blank lined area for writing.

—これより先の余白には絶対に記入しないこと—